

平成 28 年 (2016 年) 4 月 22 日  
 長野県環境部 環境エネルギー課環境管理係  
 (課長) 古川 浩 (係長) 小林 史人  
 (担当) 浦崎 宏平  
 電話 : 026-235-7209 (直通)  
 026-232-0111 (内線) 2730  
 FAX : 026-235-7491  
 E-mail kankyoene@pref.nagano.lg.jp

平成 28 年 (2016 年) 4 月 22 日  
 長野県総務部 財産活用課庁舎管理係  
 (課長) 小野 光尚 (係長) 内野 祐志  
 (担当) 徳武 孝志  
 電話 : 026-235-7045 (直通)  
 026-232-0111 (内線) 2257  
 FAX : 026-235-7474  
 E-mail zaikatsu@pref.nagano.lg.jp

資料3

## 「冬の信州省エネ大作戦・2015」の取組結果について

今冬の節電・省エネ対策の県民運動として実施した「冬の信州省エネ大作戦・2015」の期間中における電力使用状況等がまとまりましたので、お知らせします。

この冬の県内の最大電力は、月平均気温は高かったものの、1月25日前後に冬型の気圧配置が強まり大陸からの強い寒気が流れ込んだ影響を受け、今冬の最低平均気温(-4.4℃)を記録したことなどから、平成22年度比5.7%増の313.7万kW※(1月25日)となりました。

※平成22年度最大電力:296.9万kW

“節電の構造的な定着を目指す”ために設定した長野県独自の数値目標(最大電力を平成22年度比5%削減とする今冬の節電目標)を達成することはできませんでしたが、県民皆様の節電・省エネの取組の結果、最大電力発生日を含む10日間を除いては、目標を下回り、成果をあげることができました。販売電力量は、5年連続して平成22年度を下回っています(12~2月の販売電力量:平成22年度比9.0%減(4億4百万kWh))。

### 1 取組期間

平成27年12月1日~平成28年3月31日

### 2 取組方針

- ・県民生活や経済活動に影響を及ぼさない、無理のない範囲での県民運動の展開
- ・ピーク時間帯における最大電力の抑制を中心に呼びかけ
- ・未来志向型のライフ・ビジネススタイルへの転換につながる、前向きな節電・省エネ対策
- ・経費の削減や地域経済の活性化、生活の質の向上に資するよう配慮
- ・市町村、経済団体、消費者団体、マスコミ等、県内関係機関との連携・協働
- ・カット(減らす)・シフト(ずらす)・チェンジ(切り替える)の推進

### 3 主な取組内容 (別紙参照)

### 4 節電・省エネの目標と結果

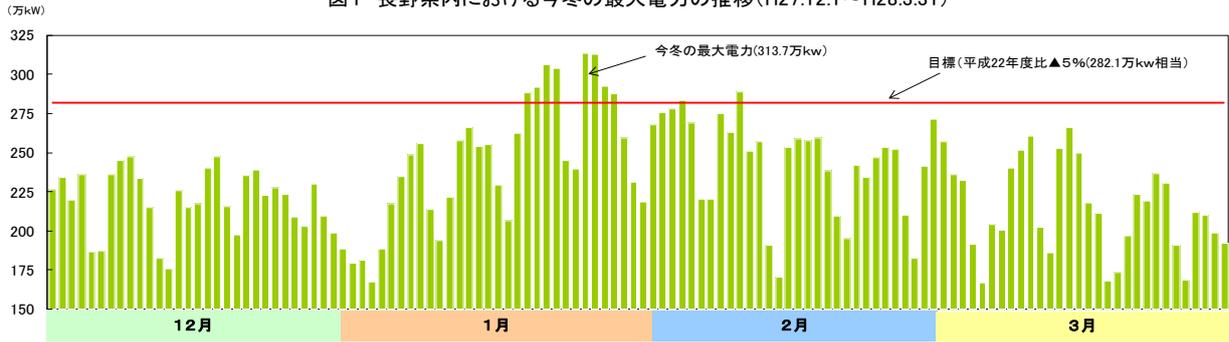
最大電力 (平成22年度比)	目 標		結 果
	全 県	▲5% (約▲15万kW分)	5.7% (16.8万kW分)
県機関	▲9% (約▲324kW分)	▲15.3% (▲551.5kW分)	

表1【最大電力値(平成22年度比)】

<目標:▲5%>

	最大電力値(万kW)		平成22年度比 (%)
	H22年度	H27年度	
長 野 県	296.9	313.7	5.7
(記録日・時)	1月11日・11時	1月25日・10時	—
中部電力管内	2,342	2,339	▲0.1
(記録日・時)	1月31日・10時	1月25日・10時	—

図1 長野県内における今冬の最大電力の推移(H27.12.1~H28.3.31)



長野県内における最大電力は、平成22年度比で5.7%増(16.8万kW)となり目標を達成することはできませんでしたが、寒さの厳しかった1月中下旬及び2月の一部を除くと、取組期間を通じた全ての日で、最大電力が目標を下回っています。長野県が進める“無理をしない・我慢に頼らない節電・省エネ”が定着化してきていることがうかがえます。

### 5 長野県下における電力需要(販売電力量)の状況

長野県内における電力需要(販売電力量)については、東日本大震災前の平成22年度と比較して、年々削減の傾向にあり、節電の取組が定着してきていることがうかがえます。

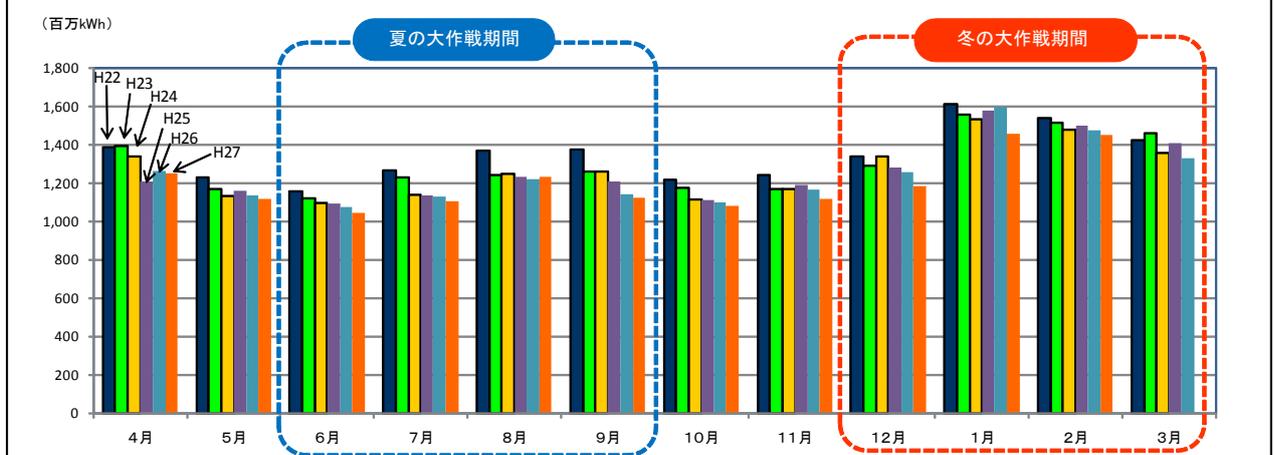
表2 長野県内の販売電力量の比較(H22年度~H27年度)

(単位:百万kWh・%)

年度・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	4~2月
H22年度	1,382	1,225	1,152	1,264	1,365	1,375	1,218	1,241	1,337	1,608	1,538	1,421	16,126	14,705
H23年度	1,388	1,167	1,119	1,225	1,237	1,257	1,171	1,165	1,289	1,555	1,515	1,455	15,543	14,088
H22比	0.4	▲ 4.7	▲ 2.9	▲ 3.1	▲ 9.4	▲ 8.6	▲ 3.9	▲ 6.1	▲ 3.6	▲ 3.3	▲ 1.5	2.4	▲ 3.6	▲ 4.2
H24年度	1,338	1,129	1,094	1,139	1,247	1,260	1,110	1,167	1,335	1,529	1,475	1,353	15,176	13,823
H22比	▲ 3.2	▲ 7.8	▲ 5.0	▲ 9.9	▲ 8.6	▲ 8.4	▲ 8.9	▲ 6.0	▲ 0.1	▲ 4.9	▲ 4.1	▲ 4.8	▲ 5.9	▲ 6.0
H25年度	1,204	1,159	1,091	1,131	1,233	1,204	1,108	1,186	1,281	1,578	1,496	1,405	15,076	13,671
H22比	▲ 12.9	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 10.5	▲ 9.7	▲ 12.4	▲ 9.0	▲ 4.4	▲ 4.2	▲ 1.9	▲ 2.7	▲ 1.1	▲ 6.5	▲ 7.0
H26年度	1,258	1,135	1,072	1,130	1,218	1,142	1,098	1,162	1,256	1,592	1,472	1,325	14,860	13,535
H22比	▲ 9.0	▲ 7.3	▲ 6.9	▲ 10.6	▲ 10.8	▲ 16.9	▲ 9.9	▲ 6.4	▲ 6.1	▲ 1.0	▲ 4.3	▲ 6.8	▲ 7.9	▲ 8.0
H27年度	1,250	1,113	1,041	1,104	1,231	1,120	1,076	1,117	1,181	1,452	1,446			13,131
H22比	▲ 9.6	▲ 9.1	▲ 9.6	▲ 12.7	▲ 9.8	▲ 18.5	▲ 11.7	▲ 10.0	▲ 11.7	▲ 9.7	▲ 6.0			▲ 10.7

※中部電力資料より作成

図2【県内販売電力量の比較】



## 6 県機関における節電の状況

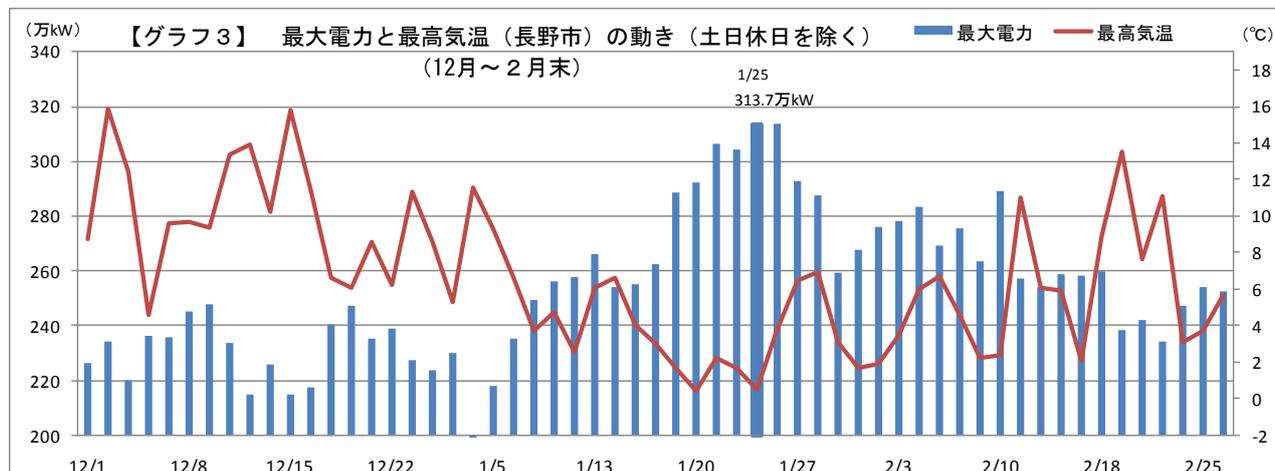
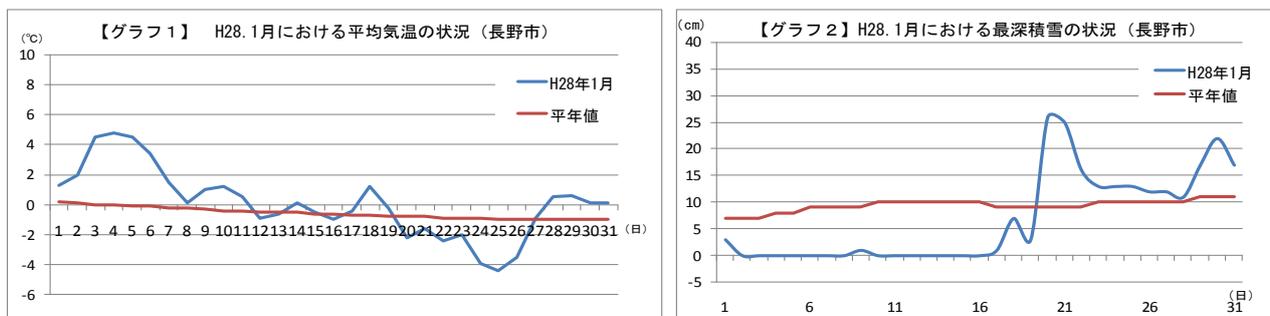
県機関（県庁舎と10の合同庁舎の合計）においては、期間中の最大電力は、平成22年度比で▲15.3%と、県機関における目標（平成22年度比▲9%）を上回る削減を達成しました。

表3 県機関における節電の状況

区 分		項 目	期間中最大	12月	1月	2月	3月
県機関計		最大値(kW)	3,045.5	2,728.3	3,043.4	3,041.3	2,806.8
		H22最大値比(%) [3,597kW]	▲ 15.3	▲ 24.2	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 22.0
内 訳	県庁舎	最大値(kW)	1,400.9	1,222.6	1,400.9	1,396.7	1,287.4
		H22最大値比(%) [1,660kW]	▲ 15.6	▲ 26.3	▲ 15.6	▲ 15.9	▲ 22.4
	10合同庁舎	最大値(kW)	1,644.6	1,505.7	1,642.5	1,644.6	1,519.4
		H22最大値比(%) [1,937kW]	▲ 15.1	▲ 22.3	▲ 15.2	▲ 15.1	▲ 21.6

## 7 今冬の最大電力発生日における天候の特徴（グラフ1～3参照）

- ・ 平年（1981年～2010年の累年平均値）と比べ、気温が低く、積雪は多い状況であった。
- ・ 特に例年にならぬ降雪のあった1月19日以降、気温の低い日が続き、25日には今冬の最低平均気温を記録した。
- ・ グラフ3に見られるように、最高気温が上がらないと最大電力が大きくなる傾向が表れている。



※最大電力は県全体の数値であり、気温及び積雪は気象庁のデータに基づき長野市を例に作成

## 1 主な取組内容

- ㊦ 長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会等と連携して、事業活動温暖化対策計画書提出事業者（281 者）をはじめとする県内事業者に対して、ピークの抑制を促すため、天気予報等に基づく電力ピークの発生の可能性や電力ピーク対策等、電力ピーク抑制につながる情報配信を実施（毎週金曜日）。
- 電力使用のピーク時間帯を中心に、家庭の暖房等を止めて、身近にある元々暖かい場所や楽しく過ごせるイベント・行事等に出掛けることを促し、社会全体の節電を図るとともに、地域経済の活性化にもつなげる「信州あったかシェアプロジェクト」を展開。  
145 箇所のスポット及び 60 件のイベントを登録・紹介。
- ㊦ 信州あったかシェアスポットシールラリー（応募実施期間：12/1 から 2/14）
  - ・シールラリーに参加しているスポットを利用すると配付されるシールを 3 枚集めて応募いただいた方の中から、抽選で素敵な景品をプレゼント（応募数：86 当選数：40）
- 「カット」「シフト」「チェンジ」の手法によるピークカット対策を中心に、県民総ぐるみの節電・省エネ対策を実施。
- 主体別の節電・省エネアクションメニューを作成し具体的な行動を普及啓発。具体的な節電効果を数値で紹介。また、職員等への階段利用を呼びかけ、ACE プロジェクトと連携して取組みを実施。
- 「信州省エネパートナー」の募集を通年で実施し、率先的な節電・省エネ活動を行う事業者及びその活動を PR。
- 「WARMB I Z スタイル」として、適正暖房の徹底とそれにふさわしい服装や身体を暖める工夫を推奨。

## 2 関連イベント等の実施状況

- 「節電・省エネ対策セミナー」（2/4 長野市、2/5 諏訪市）
  - ・省エネ対策を進める際の着眼ポイントや国の補助制度、率先的な節電・省エネの取組を紹介。（参加：約 140 名）
  - 講師：東京都環境局地球環境エネルギー一部排出量取引担当課長 宮田 博之氏  
経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室  
総合エネルギー広報係長 大森 潤平氏  
中外テクノス株式会社 東京支所 地球エネルギー事業推進室長 松尾 仁氏  
株式会社日本エネルギー機関 代表取締役 中谷 哲郎氏

## 3 広報活動

- スーパー、百貨店、コンビニ等の商業施設、金融機関、各業界団体、交通機関、小中学校、市町村等へ、ポスターやチラシ等の配布と掲示による広報周知を依頼。
- 県公式ホームページに「節電・省エネポータルサイト」を開設し、節電関連情報やポスター等を提供。また、期間中毎日の最大電力の状況を翌平日に情報発信。
- 「広報ながのけん」、テレビ・ラジオのスポット放送、コミュニティラジオ、新聞広告、フリーペーパーなど、各種広報媒体を活用した取組の広報・周知。